
Next Century

10001100101

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Next Century

【Zコード】

Z0273K

【作者名】

10001100101

【あらすじ】

22世紀。人類が衰退の一途を辿る中で、普通の高校生の日々。史直はWissenschaft Verbandという組織から協力を依頼される。

2052年 石油が枯渇する。

2055年 世界の人口の急激な減少が始まる。

「これを踏まえて21世紀は「後退世紀と呼ばれる。」

2110年、日本、東京、新多摩川第一高校1年A組
本日の授業終了まで残り10分。

歴史教師の藤沢（五十代男性）が、黒板に板書をしている。こんな過去のこと学んでどうするんだ、のような愚痴を後ろの席の品川と喋っている。隣の席の川崎は寝ている。

「おい、日下と品川！」

藤沢の声で僕は品川と話すのを止めた。

「はい、すみません。」

品川が適当に謝った。

しばらくの間、軽くノートをとっていると終業のチャイムが鳴った。

「あー、これで終わつたー。」

それまで寝ていた川崎が急に元気を取り戻す。

「おい、日下。後で職員室に来てくれないか。」

僕は藤沢にそう言われた。何かまずいことでもしたのだろうか。

授業中に喋っていた程度でわざわざ職員室で説教をするほど藤沢は心の狭い人じやない。

職員室。

「タチバナさん。日下を連れてきました。」

タチバナさん、とよばれた人が僕の目の前に来た。

「あなたが、日下史直君ね。」

タチバナさんはそう言って、椅子に腰掛けた。

「先生は少しね席をはずしてくれませんか?」

タチバナさんが藤沢にそう告げて、藤沢は自分の机の所に行つた。

「日下君。私はこういう者だけど。」

タチバナさんは、そう言って名刺を僕に渡した。見たところ、17~8歳位にしか見えないが高校生にしては少し大人びた雰囲気のタチバナさん。名刺には、

De^ダ—Wi^{ヴィッセンチャフト}ssen^{パン}chaf^トt Ver^{ヴァーバンド}an^{ランチュ}bran^{レンド}ch Sch^{シュヴァルツ}warz^{ラル}—Kommandi^{コマンティ}er^{ヤー}nder^{ギナラル}General^{ジナラル}
Ami^{アミ} Tachibana^{タチバナ}

そう記されていた。見たところ、ドイツ語らしいが意味を尋ねると、

「科学協会日本支部黒司令官の橘典美よ。長い名前だから普通は、
典美って呼ばれてる。」

と答えた。

「で、僕に何のようですか?」

「あなたに—Wi^{ヴィッセンチャフト}ssen^{ヴァーバンド}chaf^トt Ver^{バーン}bandに協力して

欲しいの。」

僕は動搖した。訳の分からぬ組織に協力しようと突然言われてもどうすればいいのか、皆目見当が付かなかつた。

「あの、しばらく考えさせてください。」

僕はそう答えるしかなかつた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0273k/>

Next Century

2011年10月6日19時49分発行